

一の宮っ子

第14号

発行
一宮市児童育成連絡協議会

事務局
一宮市社会福祉センター
思いやり会館内・2階
一宮市桜1丁目12番1号
TEL・FAX 0586-73-0356

平成22年3月25日

あそびの発表

西成連区 西島つさぎ子ども会

6年 兼松 千晴



第61回 一宮市新年子ども会大会

新年子ども会大会

走りました。空気砲は段ボール箱に穴を開けて、空気ので風船を飛ばし、的になる箱に風船を多く入れたチームが勝ちになります。でんじろうさんの空気砲のように、最初は遠くにある風船を飛ばす方法を考えましたが、箱の叩き方で、風船が飛ばなかったの、直接風船をつめて飛ばす方法になりました。それでも、的の箱には5、6個は入る程度でした。舞台での本番は、普通よりきんちょうしりましたが、机を運んだり、場所の移動もうまくいき、終わった時は、ほっとしました。小学校の良い思い出に残る活動になりました。



第61回 一宮市新年子ども会大会

▲ みんなでがんばって発表できたよ

私は、お母さんにすすめられて新年子ども会大会に出ることにしました。初めは、「あんまりやりたくないな。」と思っていたけれど、練習するときに友達と会えるので、やりたくないなという気持ちもなくなっていました。私達が良く分からないときは、大人の人が見本として舞台上につけてくれたり、何度もアドバイスをしてくれました。時には「上手になったね。」「よく頑張ったね。」と声をかけてくれてすごうれしかったです。本番の日は、思ったより大きい所であそびっくりに緊張してしまっただけで、リハールをして少しだけ緊張がおさまりました。本番が近づくとつれてお客さんの数も増えていき、その多さにまたびつくりしました。本番では、私達のゲームに観客の人達も参加してくれて、楽しくやる事ができて、本当によかったです。何度も練習をしたり大変だったけど、いろんな学年の子が集まって、何かをすることはあまりないし、本番も上手にできて本当に良かったと思います。



▲ おもしろいからみんなであそぼう

丹陽町連区 外崎子ども会
6年 早瀬 七海

私は、浅井町連区の子ども会として、「風船を使ったゲーム」を発表しました。浅井北小学校の6つの子ども会の子も達が集まる場に集まって、手軽で簡単にできるゲームという事で、風船ゲームを3つ考えました。一つ目の「うちわでGO!」というゲームでは、うちわで風船を運ぶゲームだったので、落さないようにドキドキしながら、早く次の人に風船を渡しました。次の「おまたでGO!」というゲームも、足の間に長い風船をはさんで早く運ぶゲームでしたが、他の子が一瞬けん命やっている様子がおかしくて、思わず応援しながら、笑ってしまいました。最後の「上から下からGO!」は、やるたびに上手にできたのでうれしかったです。6年生最後の子ども会の行事として、北小のみんなと仲良く楽しくステージで発表できて、良い思い出になりました。

浅井町連区 尾関子ども会
6年 岩田 結以



第61回 一宮市新年子ども会大会

▲ 風船って色んなあそびができるんだ

福祉とボランティア



活動展

千秋町連区 加茂子ども会

4年 古畑 友佑



ほくは10月17日「ふくしとボランティア活動てん」に行きました。4かいの子どもの会のコナーに行きました。たくさんのかべ新聞があつて、どれにどうひょうしようか、まよいました。どれもよかったです。トイレットペーパーのしんで、「まんげきよう」や「ゆらゆらへび」をつくりました。ぐんてで、ヨーヨーもつくりました。まんげきようは、キラキラしてきれいでした。行く前は、どんなところかドキドキしたけど、すぐ楽しかったです。来年も行きたいです。

木曾川町連区 東小路子ども会

6年 永井 春希

東小路子ども会は、一年生〜六年生まで21人います。今年の遠足は、夏休みにサイエンスワールドに行つて来ました。ラジオ体操は、公民館の前で、7月21日〜8月7日までの13日間、雨の日は公民館の中でがんばりました。その夏休みの楽しい思い出を思い出して、書いて、写真をはつたりして新聞作りに取り組みました。子ども会の新聞を作つていて、楽しかったところや工夫したところは、題名を折り紙で完成したら、色の組み合わせがキレイで上手

にできました。私はこんなふうには、大きな紙に文字を書いたり、マジックを使って絵を描くことが大好きなので、すぐくこの子ども会の新聞作りは、楽しかったし、面白かったです。六年生になつてまた一つ思い出ができました。

かべ新聞優秀賞



西成連区 小赤見子ども会

6年 宮川 千穂

私たちの赤見校下には5つの子どもの会があります。子ども会では町内ごとにいろいろな行事があるので、それぞれ行った七夕会、地域ごみ清掃、遠足、福祉週間のつどい、新入生を迎える会などについての様子をかべ新聞にしました。6年生が集まりそれぞれの子ども会ごとに分かれて作りしました。工夫したことは、見やすくするために、ひまわりの形にした色画用紙を5枚作り、子ども会ごとにまとめました。写真や折り紙も利用しました。折り紙は、折り方を忘れてしまったものもあったので本を見たり、みんな

なで教えあったりして作りました。写真は、いろいろな形に切つてはりました。ひまわりの花のまわりにも折り紙をはりました。みんながまとまって一生けんめい作った「かべ新聞」が入賞して、とてもうれしかったです。



奥町連区 東新町子ども会

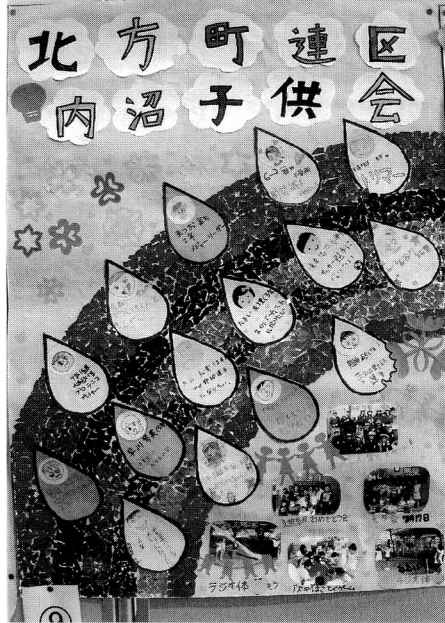
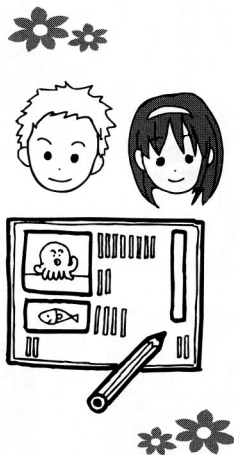
6年 柳田 千晶

私たちの子ども会は、人数の少ない7つの子ども会が協力して行事に参加することがあります。そして、壁新聞もその一つです。私の子ども会の高学年は、私一人だけけど、合同でやるということで、ほかの子もいたので、とても心強かったです。みんなでいろいろアイデアを出して、切つたり、折つたり、貼つたり。そして完成したときには、とてもほっとしました。「奥町連区の代表になつて行くかどうかは、福祉とボランティア活動展に行くまでの、お楽しみだよ。」と母に聞いていたので、とてもドキドキしながら、福祉とボランティア活動展に出かけました。そして、会場で見覚えのある壁新聞を見つけたときは、思わず「おお!!」と声が出てしまいました。それだけでもうれしかったのに、優秀賞をとつたと知つて、喜びが倍増しました。最後の壁新聞がとても良い思い出になつてよかったです。

最初「かべ新聞を作る」と言われて、何をしたらいいのか困りました。それで前に作ったかべ新聞を見せてもらったら、木のデザインだったので、私たちはじのデザインにしようと思いました。

まずは、六年生で下書きをしたり、自己しょかいの紙を切ったりと準備をしました。私達の子も会は、一年生がいなくて、二年生から六年生全員で15人の少ない人数なので、夏休みに全員で協力して作りました。

字に色をぬったり、じにはる折り紙を細かく切って、のりではったりしました。切った色が紙が手にくっついたり、色が混ざったりして大変でしたが、意外と楽しかったです。優秀賞に選ばれてうれしかったです。



神山連区ジャンボ子ども会
6年 水野 美優

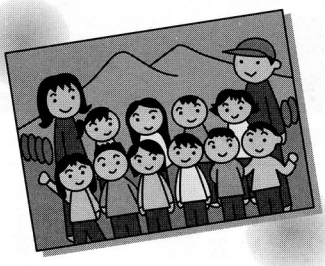
「かべ新聞を作ってほしい」そう聞かされた私たちは、すごくびっくりしました。

はじめは、めんどくさそうと思いつつも公民館にみんなが集まりました。話をしたり、大きなもぞう紙を見るとやる気がわいてきて、次々とアイデアが浮かんできました。

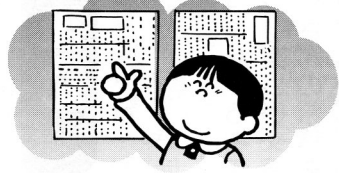
テーマには、遠足と球技大会を取り上げようという事になりました。二つとも子ども会で体験した事なので、話していると、バスの中でのみんなの笑顔や、クッキー作りのあまいにおい

が思い出されました。球技大会では、おそろいのユニホームを着てチームでがんばったねと話しました。今回、かべ新聞を作る事で改めて思い出を再確認する事が出来ました。

そして優秀賞をいただき、ますます良い思い出として残す事が出来ました。ありがとうございました。



今年、ひかり子ども会は「一宮七夕まつり市民七夕飾り付けコンクール」に出品することになりました。ささかざりのキャラクターは、みんなが話し合った結果、エルモとビックバードに決まり、七夕の願いごととは子ども会のみんなに書いてもらいました。みんなの願いごとが通じたのか、みごと「カシオペア座賞」をもらうことができました。七夕かざりつけコンクールに出品したことを題材に、五・六年生を中心に夏休みの間、かべ新聞を作りました。工夫したことは、おり紙やセロファンで花のフレームをつくり、その中に写真や字を書きました。そして、みんなに書いてもらったお星さまの願いごとの中から代表四人を選んでのせ、バラの花やせみと金魚などで夏らしさをアピールしました。おかげで「優秀賞」をもらうことができました。とてうれしかったです。みんなが協力し合って、今年二回も賞がもらえて、六年生最後のいい思い出になりました。



代表者研修会



奥町連区 瀬古子ども会

指導者 木村 由美

「二年間を振り返り返り指導者として感じたこと」をテーマとして、指導者が話し合いました。その中で、子どものリーダー研修会を開催して欲しいという意見がありました。そういえば、指導者の様々な研修会はありませんが、子どもの研修会はありません。本来、

「子どものための子どもによる子ども会」として、子どもによって運営されることの方が大切です。しかし現実には、大人が行事を考え行動している単子が多いと思います。もし学習する場があれば、理想の子ども会の形に近づく一歩となるでしょう。



▲子どもの為に見守る姿勢で関わっていききたい

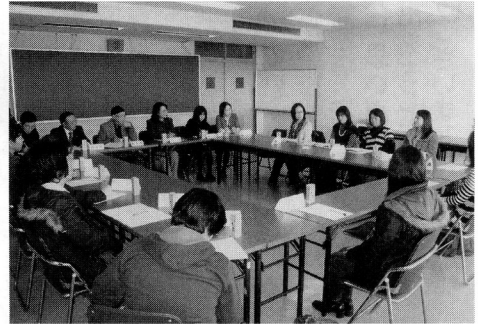
私も今回の研修会のおかげで、疑問に思っていた事に対する答えを頂きましたし、いろいろな情報を得る事もできましたので、参加して良かったなと思えました。この知識を次の指導者に引き継ぎ、これからは相談役として子ども会を支えていきたいと思います。

大徳連区 富田寺町子ども会

指導者 早川 景子

私は二人の子供を持つ母として子ども会に入り、八年目にして子ども会の指導者を任されました。一年間を振り返ってみると、初めはこんな大役、私に出来るのかと不安と心配でスタートしました。でも、一つ一つ行事をこなしていく中で、達成感が生まれてきました。子供達の笑顔が見られたり、保護者の方とコミュニケーションがとれた事が、私にとって一番うれしかったし、パワーを頂くことが出来ました。

今回研修会に参加して、たくさんの方の意見を聞く事が出来ました。問題点として一番多かったのが、「習い事をしていない子供が増えて土日に行う子ども会行事に参加出来ない」とか、「役が嫌で子ども会を辞めてしまおう親がいる」などでした。やはり、子供達の為に地域の方の理解や協力が必要だとつくづく思いました。



▲指導者をやってよかった！

分科会のまとめ

良かった点

- ・皆さんに協力してもらったので、次は協力する側になりたい。
- ・いろいろな経験ができ、自分も成長し、子どもたちとふれあえた。
- ・子ども会の行事を子どもたちと一緒に楽しめた。
- ・会長に立候補した子に不安ながらも任せてみたらとても上手にやってくれた。
- ・役員同士協力できた。
- ・KYTは勉強になった。(ケガがあったので必要性を感じた。)

問題点

- ・子ども会会員の人数が多いとまとめるのに苦労した。
- ・保護者の協力が得られないのに苦情が多い。
- ・子ども会行事を変えようとする抵抗される。

- ・土・日のおけいこ事と子ども会行事が重なる。
- ・子ども中心の子ども会ではなく、指導者中心の子ども会になってしまっている。

助言

- ・父親の参加がもっと増えるといい。
- ・子ども会活動が楽しくできるように子どもたちと話し合う。
- ・あいさつの出来る子どもに育てる。
- ・子ども会の会長(子ども)を集めて研修会をしてみたらどうか。



表彰

去る11月21日、愛知県子ども会連絡協議会の表彰式が名古屋市公会堂で行われ、次の子ども会が表彰されました。

県知事表彰

萩原町連区 荒南子ども会

県社協会長表彰

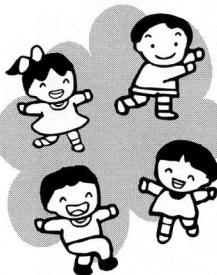
向山連区 高見子ども会
浅井町連区 東尾関子ども会

県子連表彰

大志連区 常念子ども会
葉栗連区 西大毛子ども会
起連区 畑中子ども会
大徳連区 西五城中子ども会
開明連区 新田子ども会

行事予定

○平成22年度
一宮子ども会指導者研修会
4月24日(土)
一宮市民会館



編集後記

桜の花とともに卒業、入学の季節がまた巡ってきました。この一年、皆さんから学年を超えた遊びや、楽しい交流の様子などたくさん原稿をいただき、ありがとうございました。

これからも、楽しく読んでいただける「一の宮つ子」にしていきたくと思っています。

広報委員

渡部 規子・岩田さとみ
田中比登美・馬場あや子
伊藤 澄枝・加藤 和子
宇野 笑子・古畑 貴代
内野亜由美・澤田マチコ